

令和7年度
公益社団法人東京都看護協会



第 59 回東京都看護学会

令和8年1月17日【土】
9:30～16:30

「看る」ということ
～温もりと科学の融合～

プログラム集



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

令和 7 年度 第 59 回東京都看護学会開催のごあいさつ

公益社団法人東京都看護協会 会長 柳橋 礼子

令和 7 年度、東京都看護学会にご参加いただき誠にありがとうございます。

学術推進委員並びに関係者・会員の皆様には日頃から当協会の運営にご協力を賜り心から御礼を申し上げます。

さて、2025 年になりまして、2040 年を見据えた新たな地域医療構想が策定・推進される時期に入っていました。日本看護協会からは「看護の将来ビジョン 2040」が公表されました。このビジョンでは 2040 年の社会のすがたと医療・看護のすがたを予想した「看護の変革」について述べられています。将来に向けた看護を考える機会として、ご活用いただきますようお願いいたします。

第 59 回東京都看護学会のテーマは、【「見る」ということ～温もりと科学の融合～】といたしました。これまでの実践で、明らかにしてきたこと、積み上げてきたことを、将来にむけて展開することを思い描くことができる学会にしたいと考えています。

特別講演は、一般社団法人日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会理事の安藤潔先生をお招きして「患者視点の医療サービスの実現へ ～Patient Experience(PX)患者経験値の考え方～」というテーマでご講演いただきます。

シンポジウムは「テクノロジー×ヒューマンケア ～広がる看護の可能性」というテーマで 3 名のシンポジストにご登壇いただきます。

また、一般演題は、研究報告 22 題、実践報告 46 題、企画セッション 1 題となりました。多くの演題登録をありがとうございます。その他、ランチョンセミナーや企業展示もごさいます。

ぜひ、一日楽しんでご参加いただきますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の学会が、皆様の交流の場となり看護の発展につながる機会となること、そして明日からの活動の糧となりますことを祈念しております。

今後とも、東京都看護協会へのご協力とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

参加者へのご案内

◆会期・会場

現地開催：令和 8 年 1 月 17 日（土） 9：30～16：30
会 場：東京都看護協会 東京都新宿区西新宿 4-2-19

◆受付

場所：1 階フロア 時間：9：00～16：00（最終受付時間）
【総合案内】、【座長・発表者受付】、【一般受付（事前申込）】、【当日受付】に分かれています。
一般参加（事前申込）、企画セッション発表者の方は事前に受付用の Q R コードをお送りします。

◆参加費

事前申込：会員 3300 円 非会員 6600 円 学生（院生以外）2200 円
当日参加：会員 5000 円 非会員 10000 円 学生（院生以外）3000 円
※当日参加の方は東京都看護協会会員の方は会員証を提示、学生（院生以外）でご参加の方は、学生証を提示の上当日受付で参加費をお支払いください。また現金のみの取り扱いとなります。

◆発表会場について

- ・東京都看護協会：1 階メイン会場、3 階研修室 301・302、4 階研修室 401 の会場で行います。
- ・詳細は「第 59 回東京都看護学会スケジュール」でご確認ください。

◆抄録について

- ・事前に Google ドライブにアップしておりますので、そちらをご参照ください。
- ・本プログラムにも QR コードを掲載しておりますので、QR コードからも閲覧・ダウンロードが可能です。

◆アンケートについて

- ・アンケートは会場内提示の QR コード、プログラム最終ページ掲載の QR コードを読み取りご回答をお願い致します。
- ・皆様のご意見をぜひお聞かせください。

◆奨励賞

- ・演題の中から奨励賞を表彰いたします。発表および表彰式は閉会式で行います。
- ・選考基準：1. 本学会で発表されたもの
2. 看護実践に活用するもの
3. 斬新であり、あたらしい発見が期待されるもの
4. その他看護の発展に寄与するもの
- ・選考方法：本学術推進委員による選考

◆特別講演について

- ・1 階メイン会場で実施します。
- ・1 階メイン会場が満席の場合、3 階研修室 301 の会場をご利用ください。
なお、3 階研修室 301 の会場では、同時放映のため、特別講演についてのご質問は対応できませんのでご了承ください。

◆ランチョンセミナーについて

- ・事前にお申し込んだ方には、学会当日、受付にてランチョンセミナー参加券を配布させていただきます。
- ・ランチョンセミナー時に、参加券をご持参の上会場までお越しください。
- ・**セミナー開始後 5 分 12 : 25 分 を過ぎますと参加券は無効**とさせていただきます。
- ・お弁当に余りがある場合は、セミナー開始後に会場入り口で当日受付をさせていただきます。
- ・セミナーの聴講のみをご希望される方は、空席がある限り聴講いただけます。
- ・配布されたお弁当は、会場内でお召し上がりください。お弁当の空き箱等は所定の場所に捨ててください。

◆会場参加にあたって

- ・学会会場は、1 階、3 階、4 階となります。4 階メディアセンター（図書室）は休館となります。
- ・2 階、5 階、6 階はご利用できませんのでご注意ください。
- ・発表会場内では、携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにすることを厳守してください。
- ・会場内は、本学会が許可した者以外の撮影・録音・録画は禁止となっておりますのでご了承ください。
- ・会場内は必ずネームホルダーの着用をお願い致します。一度館外に出られ、再入館される場合もネームホルダーで確認させていただきます。
- ・廊下等での大声による話は会場内に響きます。ご配慮をお願い致します。
- ・会場内はすべて禁煙です。
- ・貴重品の取り扱い、盗難には十分にご注意ください。
- ・忘れ物を見つけた場合は、1 階総合案内に届けてください。
- ・女性トイレは各階に、男性トイレは 2 階～4 階にございます。

◆飲食について

- ・飲み物に関しては蓋があるものに限り会場内持ち込み可能です。
- ・3 階、4 階ラウンジでは飲食可能です。
- ・1 階、4 階に飲み物の自動販売機がございますが、館内での飲食の販売はございません。近隣の飲食店やコンビニ等をご利用ください。
- ・発表会場（1 階メイン会場、3 階研修室 301・302 4 階研修室 401）では、食事は原則禁止ですが、以下の時間帯は飲食可能となります。
1 階メイン会場 12：20～13：10
3 階研修室 301 12：20～13：00 3 階研修室 302 12：10～13：00
- ・館内での食べ歩きはご遠慮ください。

◆感染対策について

- ・体調が優れない場合は、ご参加はお控えください。
- ・入口や会館施設内各所に設置している手指消毒液による消毒、手洗い、咳エチケットの順守をお願いします。

◆Wi-Fi

- ・会場内で無料の Wi-Fi がご利用になれます。
- ・SSID:tna-guest PASS : ZnxpH+_URgV8
※一度にアクセスが集中すると Wi-Fi がご利用になれない可能性があります。

◆緊急時・避難時について

- ・会場内の避難経路をご確認ください。緊急事態発生時は会場内係員の指示に従ってください。
- ・怪我や急病の場合は、近くの係員にお申し出ください。
- ・呼び出しは原則として行っておりません。

◆東京都看護学会当日の連絡先（緊急連絡・問い合わせ等・演台発表者欠席遅刻等）

070-1004-8996（学会事務局）

座長・発表者へのご案内

◆座長の方へ

1 階「座長・発表者受付」にて受付時間までに受付をすませ、ネームホルダーをお受け取り下さい。

集合時間は口演群開始 15 分前です。ご担当する発表会場の「発表者集合場所」にお越しください。会場責任者より発表者へのオリエンテーション、発表者との顔合わせを行います。開始 5 分前には座長席にお座りください。会場責任者の開始指示に従って進行を始めてください。その後の進行は座長の方にお任せいたします。口演発表は 1 題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。発表残り時間 1 分を切りましたら合図致します。時間厳守の進行をお願い致します。

◆口演発表者の方へ

1 階「座長・発表者受付」にて受付時間までに受付をすませ、ネームホルダーをお受け取り下さい。

集合時間は口演群開始 15 分前です。ご担当する発表会場の「発表者集合場所」にお越しください。会場責任者より発表者へのオリエンテーション、座長との顔合わせを行います。開始 5 分前には発表者席にお座りください。

口演発表は 1 題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。発表残り時間 1 分を切りましたら合図致します。

発表時間は厳守してください。

発表会場の演台には P C、キーボード、マウスがございます。発表用のパワーポイントは開いておきますので、パワーポイントの操作はご自身で行ってください。「発表者ツール」は使用できませんので、原稿が必要な方は各自準備してください。

◆企画セッション主催者の方へ

事前に受付用の Q Rコードをお送りしますので、1 階「一般受付」に受付時間までに Q Rコードで受付をしてください。

集合時間は口演群開始 15 分前です。ご担当する発表会場の「発表者集合場所」にお越しください。会場責任者より発表者用のネームホルダーをお渡しオリエンテーションを行います。企画セッションは自主運営です。時間は 60 分 厳守で、会場の基本レイアウトから変更の及び現状復帰、片付け、参加者の退室及び仕様変更の復元を時間内に終了するようお願い致します。会場内には P C、プロジェクター、スクリーン、マイクを用意致します。配布資料等は各自でご用意ください。定刻になりましたら開始してください。

第 59 回東京都看護学会

◆発表者受付時間・集合時間について（下記表を参照）

発表者の方の受付は、発表時間の 1 時間前までに済ませてください。

集合時間は各発表会場の集合場所に 15 分前にお集まりください。

発表会場	演題	★受付時間 下記の時間までに受付を済ませ てください。	★集合時間 各発表会場の集合場所 にお集まりください。	発表時間
1階メイン会場	第Ⅰ群	10時15分	11時	11:15～12:05
	第Ⅱ群	14時05分	14時50分	15:05～15:55

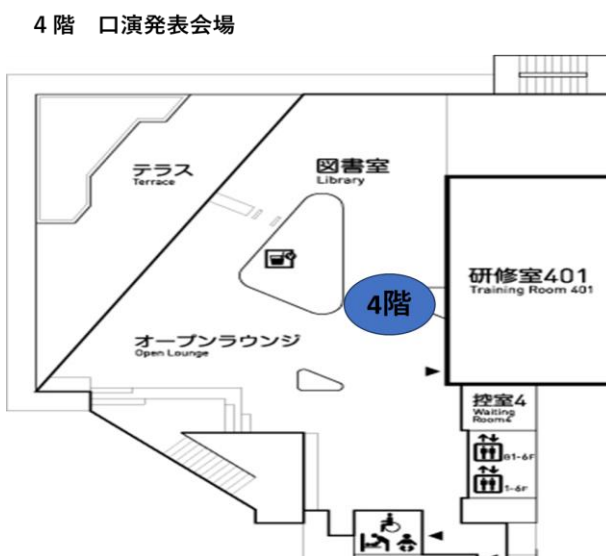
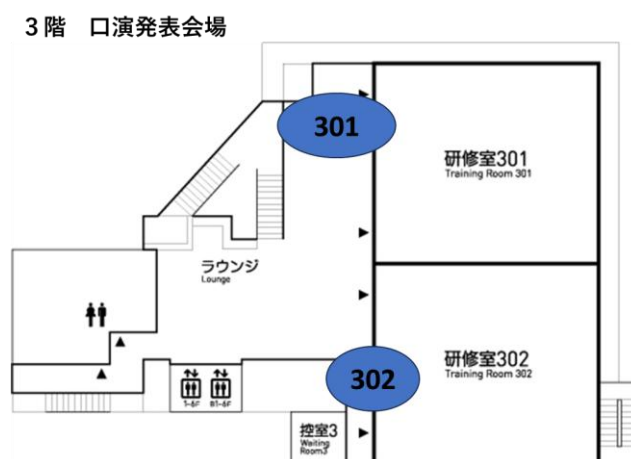
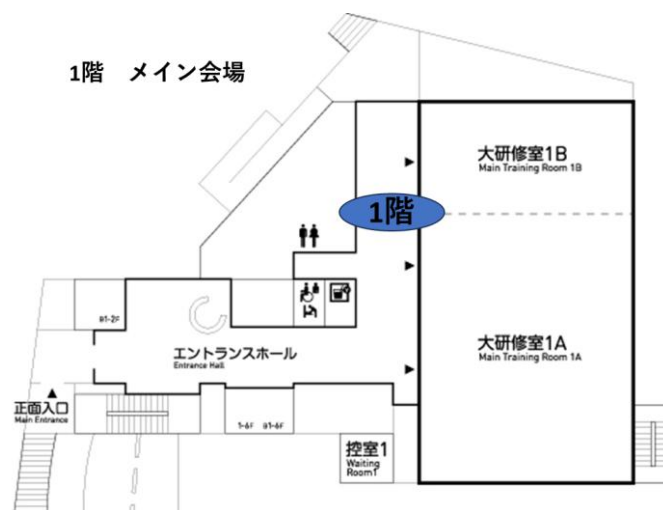
発表会場	演題	★受付時間 下記の時間までに受付を済ませ てください。	★集合時間 各発表会場の集合場所 にお集まりください。	発表時間
3階研修室301	第Ⅲ群	10時15分	11時00分	11:15～12:15
	第Ⅳ群	12時10分	12時55分	13:10～14:10
	第Ⅴ群	13時20分	14時05分	14:20～15:10
	第Ⅵ群	14時20分	15時05分	15:20～16:10

発表会場	演題	★受付時間 下記の時間までに受付を済ませ てください。	★集合時間 各発表会場の集合場所 にお集まりください。	発表時間
3階研修室302	第Ⅶ群	10時15分	11時00分	11:15～12:05
	第Ⅷ群	12時10分	12時55分	13:10～14:00
	第Ⅸ群	13時10分	13時55分	14:10～15:00
	第Ⅹ群	14時10分	14時55分	15:10～16:10

発表会場	演題	★受付時間 下記の時間までに受付を済ませ てください。	★集合時間 各発表会場の集合場所 にお集まりください。	発表時間
4階研修室401	第Ⅺ群	10時10分	10時55分	11:10～12:10
	第Ⅻ群	13時15分	14時	14:15～15:05
	第ⅫⅢ群	14時15分	15時	15:15～15:55

発表会場	演題	★受付時間 下記の時間までに受付を済ませ てください。	★集合時間 各発表会場の集合場所 にお集まりください。	発表時間
4階研修室401	企画セッション1	12時	12時45分	13:00～14:00

◆発表者集合場所



第59回東京都看護学会

第59回東京都看護学会スケジュール

メイン会場

1階
大研修室1A・1B

口演会場

3階
研修室301

口演会場

3階
研修室302

口演発表会場 企画セッション

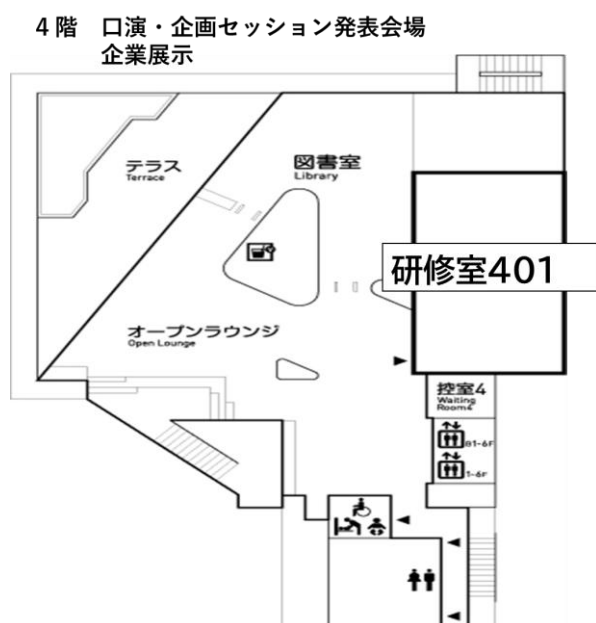
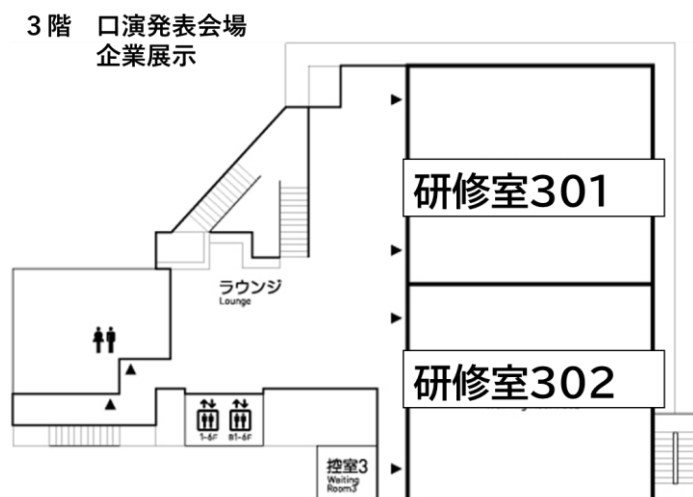
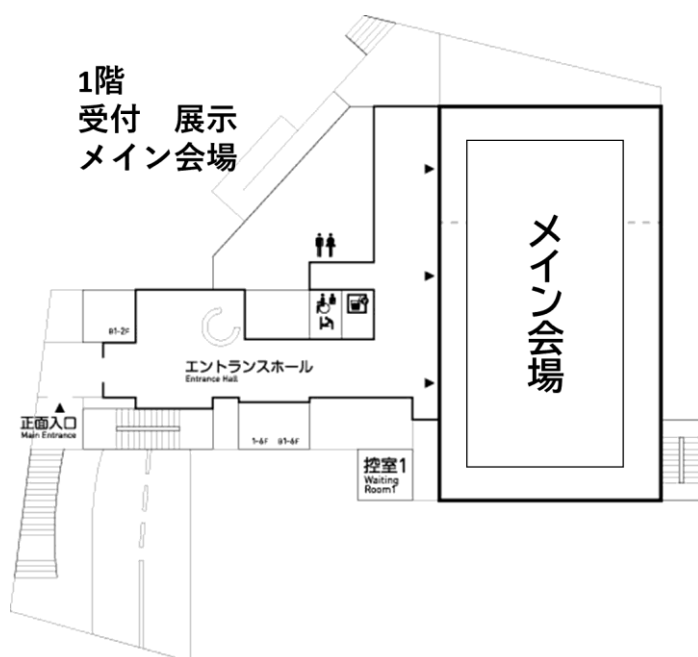
4階
研修室401

企業展示

1階・3階・4階
オープンラウンジ

9:00		9:00	9:00	9:00	<p>～展示～ 展示時間：10時～15時 (11企業)</p> <p>1階 ・ニプロ株式会社 (ランチョンセミナーも実施) ・株式会社 伊藤園</p> <p>3階 ・村中医療器株式会社 ・ナガイレーベン株式会社 ・シーホネス株式会社 ・日本生命保険相互会社</p> <p>4階 ・東洋羽毛首都圏販売株式会社 ・東京サラヤ株式会社 ・フオーク株式会社 ・株式会社日本ケアコミュニケーションズ ・株式会社エムティアイ</p>
9:25～9:30	オリエンテーション				
9:30～9:50	開会式				
9:50～11:00	<p>共催 一般社団法人東京都日本病院会支部 看護部会</p> <p>特別講演 患者視点の医療サービスの実現へ ～Patient Experience(PX)患者経験価値 の考え方～</p>	9:50～11:00 特別講演 同時放映			
11:15～12:05	<p>第I群 (5題) 教育・キャリア開発</p>	11:15～12:15 第III群 (6題) チーム医療・他職種連携① 看護方式・部署連携等	11:15～12:05 第VII群 (5題) 効果的な看護ケアの取り組み② がん看護・精神看護	11:10～12:10 第XI群 (6題) チーム医療・他職種連携③ 退院支援・記録	
12:20～13:10	<p>ランチョンセミナー 『病人を観察する』とは ～観察したことを察知するな、行動せよ～ 共催：ニプロ株式会社 (飲食可)</p>	12:20～13:00 休憩(飲食可)	12:10～13:00 休憩(飲食可)		
13:20～14:50	<p>シンポジウム 『テクノロジー×ヒューマンケア』 ～広がる看護の可能性～</p>	13:10～14:10 第IV群 (6題) 患者・家族へのケア	13:10～14:00 第VIII群 (5題) 効果的な看護ケアの取り組み③ 認知症・高齢者看護	13:00～14:00 企画セッション I	
15:05～15:55	<p>第II群 (5題) 効果的な看護ケアの取り組み① 患者指導</p>	14:20～15:10 第V群 (5題) 組織運営・組織開発	14:10～15:00 第IX群 (5題) 小児・母性看護	14:15～15:05 第XII群 (5題) 効果的な看護ケアの取り組み④	
16:15～16:30	閉会式 奨励賞発表	15:20～16:10 第VI群 (5題) 周手術期・手術室看護	15:10～16:10 第X群 (6題) チーム医療・他職種連携② 急変対応・感染・業務改善	15:15～15:55 第XIII群 (4題) 効果的な看護ケアの取り組み⑤ 身体拘束	
16:30					

会場内案内図



開会式・閉会式・特別講演・シンポジウム・ランチョンセミナー

◆開会式 9:30～9:50 1階メイン会場

開会挨拶 公益社団法人東京都看護協会 会長 柳橋 礼子

◆閉会式・奨励賞発表 16:15～16:30

奨励賞発表

閉会挨拶 公益社団法人東京都看護協会 副会長 佐藤 浩子（社会福祉法人敬仁会東京本部）

総司会：橋本 容子（帝京科学大学 医療科学部看護学科在宅看護学 講師）

◆特別講演 9:50～11:00 1階メイン会場 同時放映3階研修室 301

共催 一般社団法人東京都日本病院会支部看護部会

「患者視点の医療サービスの実現へ ～Patient Experience (PX) 患者経験価値の考え方～」

講師：安藤 潔

一般社団法人日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会理事

東海大学医学部 血液・腫瘍内科 客員教授

座長：三浦 紀子（地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立豊島病院 看護部長）

◆シンポジウム 13:20～14:50 1階メイン会場

「テクノロジー×ヒューマンケア ～広がる看護の可能性～」

シンポジスト1：DX時代の看護価値 ～人でしかできないことは何か、そして何を人が担うのか～

講師：兄井 利昌（株式会社日本経営 業務プロセス改善コンサルティング部長）

シンポジスト2：「遺伝医療」をめぐる看護のかたち ～人と人が通じ合うケアの実践～

講師：御手洗 幸子（NTT 東日本関東病院 看護部 遺伝看護専門看護師）

シンポジスト3：ぬくもりあるケアのためのテクノロジー活用 ～看護師によるケア支援システム開発～

講師：雨宮 歩（千葉大学大学院看護学研究院 講師）

座長：岡 美雪（聖路加国際大学 看護学研究科 准教授）

◆ランチョンセミナー 12:20～13:10 1階メイン会場

共催 ニプロ株式会社

「『病人を観察する』とは ～観察したことを黙認するな、行動せよ～」

講師：玉上 淳子（東京慈恵会医科大学附属病院 看護部部長）

座長：谷口 陽子（北里大学病院看護部 副看護部長）

口演発表（Ⅰ～ⅩⅢ群）

◆第Ⅰ群 教育・キャリア開発 1 階メイン会場 11:15～12:05

座長：宗定 水奈子（学校法人東京純心女子学園 東京純心大学看護学部看護学科 准教授）

1. 新人看護師の臨床実践能力に関するコロナ禍前後の比較

～「看護職員として必要な基本姿勢と態度」の「できる」評価が減少した背景要因の考察～

○佐藤 啓¹ 佐々木 美代子¹ 與那覇 香苗¹ 島村 京子¹ 萩元 奈美¹ 町田 あい里¹ 三浦 まき²

（¹昭和医科大学病院 ²昭和医科大学江東豊洲病院）

2. 診療看護師による看護技術の拡大に向けた取り組み

○尾上 香代子 山本 育子（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

3. 初めて新人看護師の指導を担当した中堅看護師の経験

○中竹 志都子 國府 幹子 海老沼 美代子（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院）

4. 新人看護師における社会人基礎力年間推移 ～参加型学習による効果の検討～

○石川 朝香 小松 はるみ（一般財団法人自警会 東京警察病院）

5. プリセプターの新人看護師に対する主体的な行動を高める関わり

○勝連 百合菜 濱渦 美由希 坂口 真由美（公立福生病院）

◆第Ⅱ群 効果的な看護ケアの取り組み① 患者指導 1 階メイン会場 15:05～15:55

座長：野月 千春（公益社団法人東京都看護協会 専務理事）

1. クラッシュを恐れる患者への行動変容を促す関わり ―アプローチのタイミング―

○掛地 美緒子 中島 めぐみ（医療法人社団博栄会 浮間中央病院）

2. 長期安静臥床患者に対する回復意欲向上を目指し介入した看護 ～アルバート・バンデューラの自己効力感理論を用いて～

○小國 樹理（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）

3. 在日外国人初産婦への出産育児支援

○海老原 和美（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大塚病院）

4. 右片麻痺がある患者の身体可動性障害に対する介入 ～高次脳機能障害への指導方法に着目して～

○羽生 智香（慶應義塾大学病院）

5. 高リン血症における患者指導 ～リン吸着薬の減量を目指すための栄養指導への介入～

○渡邊 悠 堤 友佳子 池田 絹衣子（医療法人社団圭徳会 武蔵境駅前クリニック）

◆第Ⅲ群 チーム医療・多職種連携① 看護方式・部署連携等 3 階研修室 301 11:15~12:15

座長：安福 直子（医療法人社団 松和会 池上総合病院 看護部長）

1. カンファレンスを活用した安定的に看護の提供を目指す取り組みの実践報告

○中川 沙織 小野谷 厚子 小林 路世 小粥 美香（東京大学医科学研究所附属病院 6 階病棟）

2. 外来と内視鏡センターの連携体制の構築 外来処置センターの共同活用を試みて

○川竹 栄子（イムスグループ 医療法人社団明芳会 イムス東京葛飾総合病院）

3. ユニット病床再編における安全で質の高い看護実践への取り組み

○日高 裕貴¹⁾ 那須川 敏行¹⁾ 小川 稔子¹⁾ 小堺 隆寛¹⁾ 梶山 あゆ子¹⁾ 松田 充子²⁾ 善村 夏代²⁾
（NTT 東日本関東病院 特定集中治療室¹⁾、看護部²⁾）

4. 部署連携体制の構築と看護の質向上を目指した取り組み

○安岡 尊子 栗原 真希（公益財団法人 日産厚生会玉川病院）

5. A 病院における最適な看護提供方式を再構築する試み ～チームナーシングを基盤とする動線重視型小規模チーム制～

○手塚さつき 伊藤香奈江 新井寿賀子 伊藤千夏 猪又知子 木村知子 品田淳子 山田春子 玉本和紀
（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

6. 日々リーダーの役割を共有することで軽減する個人の精神的負担 ～看護意欲の向上に向けた取り組み～

○佐藤 智恵 松澤 千恵子 宮田 恩京（IMS グループ医療法人財団明理会 明理会東京大和病院）

◆第Ⅳ群 患者・家族へのケア 3 階研修室 301 13:10~14:10

座長：小林 いつか（国家公務員共済組合連合会 立川病院 精神看護専門看護師）

1. 慢性疼痛と共に生きる利用者の力を引き出す訪問看護師の関わり ～おにぎりを買ってくることが利用者の心を開ききっかけだった～

○多田 信子（前 大島訪問看護ステーション江戸川営業所あり）

2. 術後運動障害を生じた患者の ADL 拡大に向けた介入 ～患者が主体的にリハビリテーションを進めるための取り組み～

○佐土原 祐香（慶應義塾大学病院）

3. 脳卒中により意識障害を呈した患者家族の思い

○清水 美羽（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立豊島病院 SCU 病棟）

4. 生命の危機的状況にあるウイルス療法患者家族への代理意思決定支援

○赤堀 真奈（東京大学医科学研究所附属病院）

5. がん患者における意思決定支援の取り組み ～価値観シートを用いて患者の思いを知る～

○大江 綾乃 石川 朝香（一般財団法人自警会 東京警察病院）

6. 在宅療養への強い希望をもつ家族への退院支援 ～家族エンパワメントモデルを用いた看護実践～

○晝間 千鶴（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立神経病院）

◆第Ⅴ群 組織運営・組織開発 3 階研修室 301 14:20~15:10

座長：吉川 聖（NTT 東日本関東病院 看護部長）

1. 訪問看護事業所の離職ゼロへの取り組み

○小澤 かおり（医療法人社団久遠会 みずほ訪問看護ステーション）

2. A 病院看護師が求める働きやすさの実態調査

○南島 亜紀子 小磯 雅美 宮前 みどり 有吉 裕美子 宮本 智恵子

（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院）

3. 研修責任者の部署ラウンドと新人看護師の安心感の関連

○島村 京子¹ 佐々木 美代子¹ 與那覇 香苗¹ 佐藤 啓¹ 萩元 奈美¹ 町田 あい里¹ 三浦 まき²

（¹昭和医科大学病院 ²昭和医科大学江東豊洲病院）

4. 精神科病院における看護師の交代制勤務に関する実態調査

○小早川 真維 菱木 星菜 横溝 愛（医療法人社団欣助会 吉祥寺病院）

5. ワークエンゲージメントスコア向上に関する取り組み ありがとう運動とやりたい看護実践を通して

○小田 奈穂美 世戸口 真希 宇井 美穂

（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立墨東病院 救命救急センター）

◆第Ⅵ群 周手術期・手術室看護 3 階研修室 301 15:20~16:10

座長：山岸 ユカ（社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 手術看護認定看護師）

1. ピアジェ理論を活用した成人ダウン症患者への周術期看護

○植松 言子 照屋 ひかり リンツビヒラ 希（東京大学医科学研究所附属病院）

2. 手術室看護師の5 マイクロスキルを使った指導の効果

○吉田 奈留美（公立福生病院）

3. 視聴型術前オリエンテーションの効果 ～パンフレットと比較して分かったこと～

○高嶋 鈴蘭（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立豊島病院 手術室）

4. 術前・術後訪問実施率上昇に向けた取り組み

○五十嵐 瑞恵 小畑 香奈子 鹿摩 美梨（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

5. 手術室における医療材料の無駄削減への取り組み ～見えない無駄にメスを入れる・手術室から始める在庫改革～

○太田 明子 宮川 萌子 鷺見 多美子 原 ひとみ 五味 日菜子 芹田 麻由子

（NTT 東日本関東病院 手術室）

◆第Ⅶ群 効果的な看護ケアの取り組み② がん看護・精神看護 3 階研修室 302 11:15～12:05

座長：大友 陽子（公益財団法人がん研究会有明病院 がん看護専門看護師）

1. 希死念慮と自傷を認める患者に対する看護

○山崎 優里（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立松沢病院）

2. 急性期病棟におけるがん患者に対する退院支援の看護実践 ～スピルバーガーの状態-特性不安理論を用いて～

○深谷 彩織（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）

3. 終末期がん患者がその人らしく生きるための看護介入 ―キューブラー・ロスの死の過程の諸段階を用いて―

○河村 郁美（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）

4. 同種造血幹細胞移植後、皮膚障害を起こした患者に対する看護

～看護計画の立案・実施・評価・修正を繰り返し、統一した看護を目指した事例～

○霜鳥 映里佳 渡邊 由美子（東京大学医科学研究所附属病院）

5. 外来化学療法に移行する患者への継続看護 ～その取り組みが患者にもたらした効果～

○城市 規恵 松本 由美子（医療法人財団明理会 明理会中央総合病院）

◆第Ⅷ群 効果的な看護ケアの取り組み③ 認知症・高齢者看護 3 階 研修室 302 13:10～14:00

座長：湯田 満希（国家公務員共済組合連合会虎の門病院 老人看護専門看護師）

1. 開口拒否のある患者への口腔ケアの方法

○守屋 歩美（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院）

2. 急性期疾患がある認知症患者の BPSD 悪化を予防する看護介入 ～自宅での習慣や趣味活動の継続を通して～

○宮崎 歩（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大塚病院）

3. 認知機能の低下に伴う行動・心理症状のある患者との関わり -ユマニチュードを用いて-

○榎本 綾菜（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立豊島病院）

4. 日光浴実施による BPSD 予防への効果 ～睡眠覚醒リズム障害へのアプローチ～

○近藤 紅希（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院）

5. 一人で来院する患者の外来受診支援 ～医療者共通認識マークを活用した多職種連携～

○太田 由美 多湖 順子 石原 由美 明堂 和宏 圓谷 綾子（独立行政法人国立病院機構 東京病院）

◆第IX群 小児・母性看護 3 階研修室 302 14:10~15:00

座長：佐々木 祥子（公益社団法人東京都看護協会 小児看護専門看護師）

1. 低出生体重児として出生した児の哺乳行動確立への支援
○櫻井 すみれ（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大塚病院）
2. 小児病棟における保育・安静レベル表の作成の取り組み ～病棟保育士・看護補助者との協働に向けて～
○田子 唯衣 赤坂 優子 石川 祐香 熊倉 崇（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立墨東病院）
3. 退院日に母子分離となった母親への搾乳支援 ～パンフレットを用いて不安軽減を図る～
○阿比留 聖（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大塚病院）
4. 不安・緊張の強い思春期の自閉スペクトラム症患者への行動拡大の支援 ～ペプロウの看護理論を用いて～
○成田 雪乃（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター）
5. 先天性心疾患で入院中の乳児を持つ母親が初回退院までに抱く不安や困難感
○高松 真菜（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター）

◆第X群 チーム医療・多職種連携② 急変対応・感染・業務改善 3 階研修室 302 15:10~16:10

座長：亀田 律子（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 看護部長）

1. 重症心身障害児者施設における手指衛生遵守向上への取り組み
～個人使用量計測と「1 利用者 1 日 50 回」の目標設定を通して～
○中川 恵子（社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会 東京都立東部療育センター）
2. 感染症疾患患者の療養環境を整えるために重要と考える看護実践
○玉上 佐知子 大谷 まどか 國府 幹子 中馬 綾乃
（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院）
3. 外科系病棟の急変勉強会の継続的な実施による急変の早期介入への効果
○山田 春子 田丸 佑加子 梅澤 理華 山口 紗奈 平山 葉月 田代 菜奈海 加藤 愛菜
（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
4. 専従チームを持たない中規模病院におけるリンクナースを活用した RRS 導入の実践
○小椋 英司 小針 菜保 齋藤 恵美子（社会医療法人社団森山医会 森山記念病院）
5. 入院時間診票の改善による患者・看護師の負担軽減と業務効率化の取り組み
○渋谷 由佳 小粥 美香 小林 路世 杉原 望（東京大学医科学研究所附属病院）
6. 入院案内動画導入の効果 ～動画効果測定の結果から～
○小倉 美保 瀧口 沙樹 中村 栄美子（NTT 東日本関東病院）

◆第XI群 チーム医療・多職種連携③ 退院支援・記録 4 階研修室 401 11:10~12:10

座長：家崎 芳恵（公益社団法人東京都看護協会 事業部部長）

1. 療養病院介護記録に関する看護職・介護職への意識調査
○加藤 和佳（社会福祉法人慈生会 バトレハムの園病院）
2. 頭頸部手術を受けた患者の障害受容に応じた支援・援助 ―コーンの危機・障害受容モデルを用いて―
○細谷 奏美（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）
3. 回復期リハビリテーション病院の看護師が急性期病院の看護サマリーに求める情報と不足情報への対応方法
○稲見 知江 長井 駿 國府 幹子（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立荏原病院）
4. A 病院における入退院支援加算増加と入退院支援部門の取り組み
○錦織 さつき 小宮 園子 橋本 裕一 細井 あゆみ 和気 江利子
（東京慈恵会医科大学附属第三病院 総合医療支援センター）
5. 訪問看護師と外来看護師の看看連携における苦手意識に関する研究 ～外来看護師を対象として～
○加藤 美知子 佐藤 翼 菊池 潤子 我妻 法子（北里大学北里研究所病院）
6. 入退院支援システム改善の実践報告 ～動画教材導入と環境整備による業務効率化への取り組み～
○市倉 美保 後藤 千恵子 添田 百合子（医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院）

◆第XII群 効果的な看護ケアの取り組み④ 4 階研修室 401 14:15~15:05

座長：和気 江利子（東京慈恵会医科大学附属第三病院 管理師長）

1. 呼吸障害のある重症心身障害児に対するネックカラーの有効性を検討
○笠原 英訓（東京都立北療育医療センター）
2. 脳腫瘍に対するウイルス療法後の患者に対して多職種で関わった退院支援の事例
○篠塚 時人 山口 恭子 諏訪 円香 亀田 史絵（東京大学医科学研究所附属病院）
3. 気管挿管管理中の患者の脳梗塞所見の早期発見に向けた観察方法の検討
○成瀬 綾乃（社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院）
4. 手術後患者に対して主観的疼痛スケールと客観的疼痛スケールを併用した疼痛緩和の有効性
○田中 美羽（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立大久保病院）
5. 気管孔・C Vポートの自己管理が必要な患者への自宅退院へ向けた看護
―アルバート・バンデューラの自己効力感の理論を活用して―
○酒井 茜（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）

◆第ⅩⅢ群 効果的な看護ケアの取り組み⑤ 身体拘束 4 階研修室 401 15 : 15～15 : 55

座長：林 直哉（医療法人社団充会多摩平の森の病院 多摩平の森の病院介護医療院 認知症看護認定看護師）

1. 身体拘束解除に向けた取り組み ～アセスメントチャートを使用して～

○佐藤 美里 宮崎 明（医療法人社団巨樹の会 小金井リハビリテーション病院 看護部 2 階病棟）

2. 身体拘束ゼロを達成した急性期内科病棟での取り組み ～人として看ということ～

○中村 友紀（社会医療法人社団健生会 立川相互病院）

3. 身体拘束減少に向けた取り組み ～データベース用紙を用いたカンファレンスを通して～

○志和 さくら 福澤 ありさ 仲田 朱里（IMS グループ医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院）

4. 経鼻胃管自己抜去予防のための身体拘束を回避する看護 ～挿入時の実際をイメージした術前後説明による介入～

○植松 美風（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩南部地域病院）

企画セッション

◆企画セッション 1 4 階研修室 401 13 : 00～14 : 00

看護制度委員会の活動とその役割 ～すべての准看護師が生き活きと働くために～

企画：轟木 翼（IMS 医療法人財団明理会 鶴川サナトリウム病院）

話題提供者：浅野 久美子（医療法人社団苑田会 花はたリハビリテーション病院）

五十嵐 登美江（医療法人社団翠会ヘルスケアグループ本部）

西川 英子（総合病院 厚生中央病院）

益留 裕二（学校法人慈誠会学園 上板橋看護専門学校）

家崎 芳恵（公益社団法人東京都看護協会）

野月 千春（公益社団法人東京都看護協会）

企業展示 10 : 00～15 : 00

◆1 階

- ・ニプロ株式会社
- ・株式会社 伊藤園

◆3 階

- ・村中医療器株式会社
- ・ナガイレーベン株式会社
- ・シーホネンス株式会社
- ・日本生命保険相互会社

◆4 階

- ・東洋羽毛首都圏販売株式会社
- ・東京サラヤ株式会社
- ・フォーク株式会社
- ・株式会社日本ケアコミュニケーションズ
- ・株式会社エムティーアイ

公益社団法人東京都看護協会案内図



◆所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4 丁目 2-19

TEL：03-6300-5584 (研修係) URL：<https://www.tna.or.jp/>

◆アクセス：都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅 出口 A 1 または A 2 から徒歩 4 分
東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅 出口 2 番から徒歩 10 分

学会長

柳橋礼子

理事

横山孝子

学術推進委員

委員長 岡美雪

副委員長 小林いつか

外部委員 橋本容子 和気江利子 亀田律子

内部委員 坂井浩美 浦澤智佐 相馬泰子 深井明子

TNA

発行：公益社団法人東京都看護協会
学会事務局（教育部内）

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4 丁目 2-19
TEL：03-6300-5743（教育部内 学会事務局）
e-mail：gakkai@tna.or.jp